

## **Doshisha EU Campus European Studies Program 2023/2024**

### **Courses taught by Doshisha faculty**

*- All courses are open up to 5 Tübingen students -*

#### **ベーシックインカム・基本的必要・ジェンダー**

#### **Basic Income, Basic Needs, and Gender**

**Instructor:** Prof. Toru Yamamori

**Date:** September 4 – 8, 2023

**Language of instruction:** Japanese

**Contact hours:** 30

**ECTS:** 2

#### **Course Summary**

この授業では、近年ドイツ語圏で注目が高まっているベーシックインカム (Basic Income, Grundeinkommen) について、基本的必要やジェンダーといった補助線を引きながら、一緒に考えていきます。授業のなかでいくつかの質問を用意します。たとえば「あなたにとって基本的な必要のリストに含まれるものは何ですか」、「あなたにとって労働と労働でない活動を分けるものは何ですか」、「お金のために働く必要がなくなったら、何をしますか」など。これらの質問について、受講生には、授業の中でグループワークをしてもらったり、授業時間外に街でインタビュー調査をして、その結果を授業で報告してもらう予定です。テキスト以外に授業で使用する資料の言語は、主に英語を予定しています。

**デジタルEU・欧州論 ―文化と社会**

**Digital EU and European Countries: Culture and Society**

**Instructor:** Prof. Yuejun Zheng

**Date:** September 11 – 15, 2023

**Language of instruction:** Japanese

**Contact hours:** 30

**ECTS:** 2

### **Course Summary**

欧州は、何百年もの間、幾度となく戦争の悲劇に見舞われてきた。特に、近代には対立の中心がフランスとドイツであった。1950 年超国家的な欧州の機構の創設を提唱した「シューマン宣言」をきっかけに、1952 年に設立した欧州石炭鉄鋼共同体（ECSC）は現在の EU の出発点であった。本講義では、欧州諸国を俯瞰すると同時に、27 ヶ国加盟、4 億人を超えた地域統合である EU の歩みを顧み、各国・各地域の多様な歴史、文化、社会構造などを超えた EU の沿革と現状について各種統計データに基づく可視化により解説する。特に EU とは何か、EU はどのようにして発展してきたか、EU はどのような社会的意味をもつかといった課題について講義する。

## ドイツのスポーツ文化 ードイツ語とともに

### Sports culture in Germany - with German Language

**Instructor:** Prof. Shunichi Tazuke

**Date:** September 18 – 22, 2023

**Language of instruction:** Japanese

**Contact hours:** 30

**ECTS:** 2

#### Course Summary

本講義では、ドイツの文化としてのスポーツを、その背景にある歴史や社会の仕組みなどに関連付けて、ドイツ語も用い学習する。

学習する主なテーマは以下の通りである。

1. 地域に密着した Sportverein（地域総合型スポーツクラブ）
2. Urlaub（年に2回、それぞれ2週間程度取得できる休暇）とスポーツ
3. 「できるだけ教えない」理念の Ballschule（ボールゲーム）の始まりと発展
4. さまざまな Bewegungserziehung（運動を介した教育）
  - 1) からだを使って各教科を学ぶ Bewegte Schule（動きのある学校）
  - 2) Bewegungskindergarten（運動や遊びを介した幼稚園教育）
  - 3) Psychomotorik（運動機能、言語、知覚・認知能力、社会性などの促進を意図した運動プログラム）

上記の2)は移民や難民の受入、2)と3)は発達障がい児童・生徒の能力促進にも関わっている。

可能であれば、Sportverein（地域総合型スポーツクラブ）の活動に参加、Ballschule（ボールゲーム）の実習も行いたい。

なお、学習にあたり、ドイツ語能力を問いません。

## 人間心理と政治：社会的プロセスと決断における理性と感情

### Human Psyche and Politics: Reason and Emotion in Social Processes and Decisions

**Instructor:** Prof. Ofer Feldman

**Date:** October 9 – 18, 2023

**Language of instruction:** English

**Contact hours:** 30

**ECTS:** 2

#### Course Summary

The purpose of this course is to introduce students to historical and contemporary perspectives of political psychology and behavior, emphasizing the cross-cultural (e.g., European, Japanese) and cross-national (e.g., Germany, Japan, UK, France) context.

As an interdisciplinary discipline linking political science and psychology, which brings together psychological understandings to political questions, a thorough understanding of political psychology necessitates theoretical and methodological diversity.

Simultaneously, this course will also detail issues related to political attitudes and public opinion, leadership function, and socialization process and effect.

The course will begin with an overview of the field of political psychology and the ways that questions within political psychology have been studied.

That is, rather than examining what happened in politics, or how it happened, we can examine why it happened by looking at the psychology of individuals.

For example: What motivate individuals to take part in political activity? Or, what cause people to make decisions and form attitudes?

Answering such questions allow us to explain phenomena as political leadership, media's role and effect, and political aggression and violence, racism and discrimination.

Because much of the early work on political psychology (which were born in Europe) focused on personality, we will start by considering how enduring traits shape behavior.

We will then consider the role and effect of social context (e.g., culture, socialization) and how context help to explain individuals' participation in some of the most horrific acts committed in the 20th and 21st centuries (e.g., Germany, Russia).

The course will also detail the structure of political attitudes, examining when, and under

what conditions, individuals adjust their political beliefs and social identities; the role of identities in the domain of group conflict; racial attitudes and terrorism; national identification and patriotism; and media and personal communication processes and their outcome.

Students will leave the course with a thorough understanding of political behavior and opinions, their origin, and their effects on everyday life in the modern state.

## ヨーロッパの宗教 ―ドイツ・キリスト教の歴史と思想

### Religion in Europe - History and Thoughts of German Christianity

**Instructor:** Prof. Mika Murakami

**Date:** October 23 – November 2, 2023

**Language of instruction:** Japanese

**Contact hours:** 30

**ECTS:** 2

#### Course Summary

ドイツは長いキリスト教の伝統をもち、人々の生活や思考のなかにもキリスト教的なものが入り込んでいる。この講義ではドイツの歴史に大きな影響を与えたキリスト教について学ぶ。ドイツでキリスト教がどのように受け入れられ、どのような展開を遂げたのか、中世から現代にいたる歴史と思想を取り上げる。たとえば世界史に大きな影響を与えたルターや宗教改革の出来事、J.S.バッハの優れた宗教音楽、さらには 20 世紀のナチズムとの関係など、文化や政治に関わるものも取り上げる予定である。これらの歴史の足跡は今日なお町の中に残されている。中世に建てられた教会を訪れ、教会音楽に耳を傾けるなど、現地ならではの学びも計画している。

## 市場経済・経済活動と法制度 ―EU 競争法執行を素材にして・日本との対比

### Market Economy and Law from the Perspective of Competition Policy and Law in EU and Japan

**Instructor:** Prof. Shingo Seryo

**Date:** January 8 – 12, 2024

**Language of instruction:** Japanese

**Contact hours:** 30

**ECTS:** 2

#### Course Summary

本講義では EU の各種法制度のうち経済活動に関する面について、とりわけ競争政策・競争法 (Competition Policy and Law) から光を当てて EU の活動の実態の理解を促すことを狙いとする。現在 EU は政治・経済・社会の様々な面で加盟国全域を覆う活動を、加盟国の自立性を維持しながら行っている。このうち経済活動とりわけ競争政策・競争法に関する分野と法 (EU Competition Law) は、EU はもちろんその前身である EEC 発足当初から、欧州統合を駆動させる理念であり EU の求心力である「欧州市場(経済)統合」の推進力となるものである。以下の内容について講義を行う予定である。

第 1 に、EU 競争法が基盤とする EU の法制度の特徴的な側面を説明する。EU 法制度は EU の統合の拡大進化とともに変化しており、その点にも留意しながら講義を行う。

第 2 に、EU 競争法の中でも「欧州市場(経済)統合」との関係で重要・特徴的な制度やケースを検討する。

第 3 に、近年のオンライン取引の拡大、IT 産業やデジタルプラットフォーム企業の興隆等により、EU においても「欧州市場(経済)統合」はもちろん個人の権利・プライバシーに関連した問題がクローズアップされている。グーグル、メタ、アップル、Amazon 等の活動に関わるものであり、関連する EU 競争法の展開を解説する。

第 4 に、これらの EU 競争法の特徴的な構造や展開を日本の同様な法制度を対比して日欧の法制度の相違をもたらす理由等について検討する。